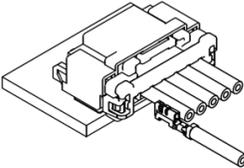
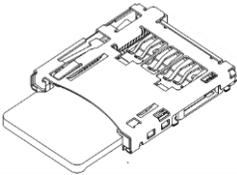
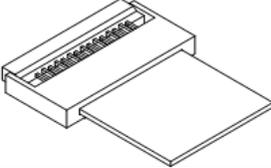
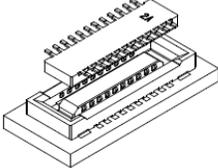


molex	コネクタに関する一般的な取扱い注意事項	Number:	Doc Part	Doc Type
		2195532297-4QA	JP	QMD
EC Number: 786986			Rev: B	

本書では、一般的な各カテゴリのコネクタにおいて、特にご注意いただきたい代表的な事項について、下記に示しておりますので、内容をよくご確認頂いた上で、ご使用いただくようお願いいたします。

カテゴリ	製品イメージ	掲載ページ
1. 共通の注意事項		2
2. カテゴリ別の注意事項		
1) 電線対基板用コネクタ／中継用コネクタ		3
2) カードコネクタ		4
3) FPC/FFC コネクタ		5
4) 基板対基板用コネクタ		6

なお、本書に記載されている内容は、あくまで各カテゴリでの代表例であり、各製品個別の製品仕様書及び取扱説明書を優先するものとします。

製品ご使用の際には、必ず、製品仕様書及び取扱説明書をご確認ください。

本書の記載内容については、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

製品のご使用に際しまして、ご不明な点がございましたら、弊社営業担当までご連絡ください。

molex	コネクタに関する一般的な取扱い注意事項	Number:	Doc Part	Doc Type
		2195532297-4QA	JP	QMD
EC Number: 786986			Rev: B	

1. 共通の注意事項

電流・電圧は定格以下でご使用ください



- 過電流・過電圧は故障や事故の原因になります。
- 活電状態でのコネクタの挿抜は、故障や事故の原因になりますので、無通電状態でコネクタの挿抜を行ってください。

コネクタに外力を加えたまま使用しないでください



- コネクタやワイヤーに力が加かった状態のまま通電を行わないでください。過度の外力が加わると、破損して故障や事故の原因となりますのでおやめください。
- コネクタは電気回路における接合部品として設計されたものです。そのため、コネクタを筐体などの構造体の一部としてご使用にならないでください。

使用環境（温度・湿度）をご確認ください



- お使いになる環境が高温・高湿度になる場所は避けてください。
- 仕様書に記載されている環境の範囲を超えてご使用になると、故障の原因になりますのでおやめください。

取扱いは丁寧をお願いします



- コネクタは精密部品です。取扱いには十分ご注意ください。
- 開梱の段階から丁寧にお取扱いいただくようお願いします。エンボステープやスティック梱包品であっても強い衝撃を与えると、端子の変形・曲がり・抜け等の原因になります。

外観

- コネクタの樹脂部に黒点、ウエルド部の線、多少の傷、気泡、色調の違いが確認される事がありますが、製品性能に影響ございません。

実装について

- 実装条件は弊社環境での推奨条件を製品個別の仕様書にて示しておりますが、必ずご使用前に、ご使用環境で実装評価を実施し、異常がないことを確認した上で、ご使用ください。

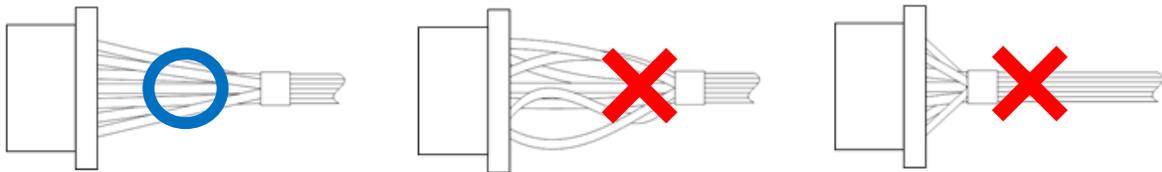
molex	コネクタに関する一般的な取扱い注意事項	Number:	Doc Part	Doc Type
		2195532297-4QA	JP	QMD
EC Number: 786986			Rev: B	

2. カテゴリ別の注意事項

1) 電線対基板用コネクタ／中継用コネクタ

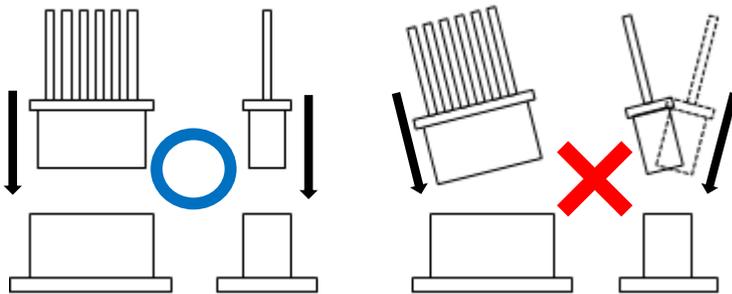
ハーネスの結束状態について

- 不適切なハーネス結束状態に、ご注意ください。端子抜けなど、不具合が生じる可能性があります。



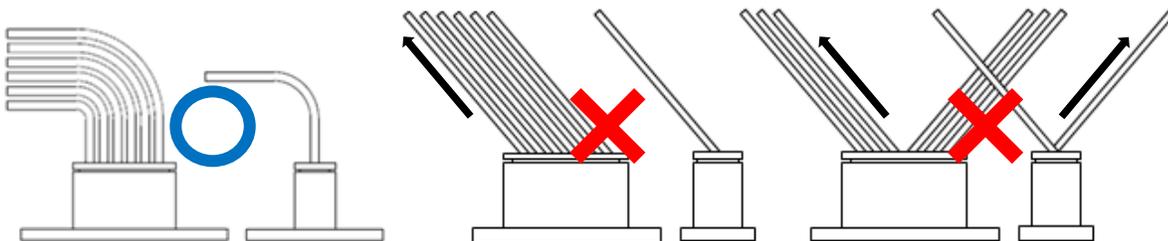
嵌合について

- 斜め挿入に、ご注意ください。スムーズに挿入できず、コネクタの破損を起こす恐れがあります。



電線の引き回しについて

- 電線は、たわみを持たせてください。極端に曲げたり、2方向に引っ張ると、コネクタが破損を起こす恐れがあります。



molex	コネクタに関する一般的な取扱い注意事項	Number:	Doc Part	Doc Type
		2195532297-4QA	JP	QMD
EC Number: 786986			Rev: B	

2) カードコネクタ

ご使用のカードについて

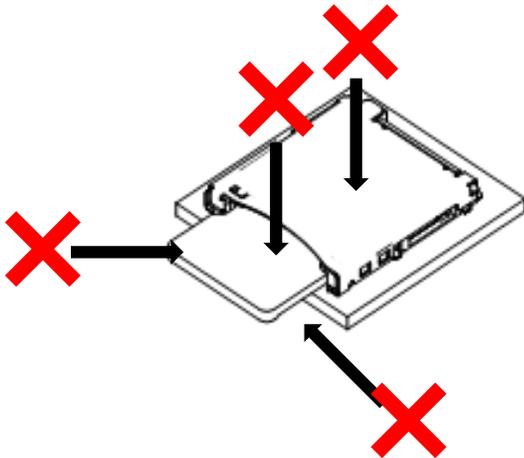
- 規格に適合したカードを、ご使用ください。規格外のものは、故障の原因になります。

ご使用のトレイについて

- 使用するトレイは、推奨寸法（弊社製品図面に記載）のものをお使いください。

カードやトレイのご使用について

- カードやトレイの使用時に、過度の負荷を与えないでください。操作性を損なう場合があります。



シェル天面の状態について

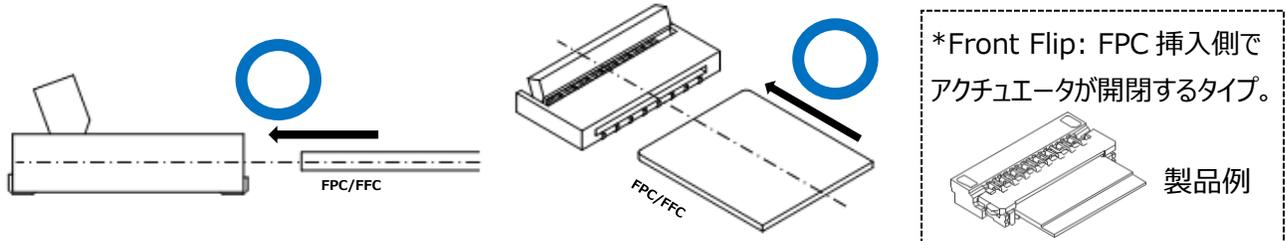
- カードコネクタのシェル天面には、シール等の粘着性を有するものを貼らないでください。誤作動や、破損の危険があります。

molex	コネクタに関する一般的な取扱い注意事項	Number:	Doc Part	Doc Type
		2195532297-4QA	JP	QMD
EC Number: 786986			Rev: B	

3) FPC/FFC 用コネクタ

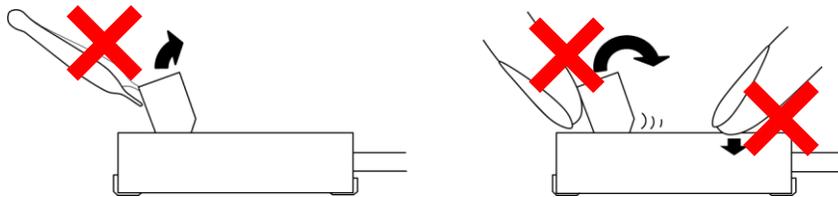
FPC/FFC の挿入・引抜について

- FPC/FFC の挿入・引抜は、Front Flip*を除き、水平方向で行ってください。
- Front Flip は耳付等により挿入・引抜角度が異なるため、各製品の製品仕様書または取扱説明書を参照ください。



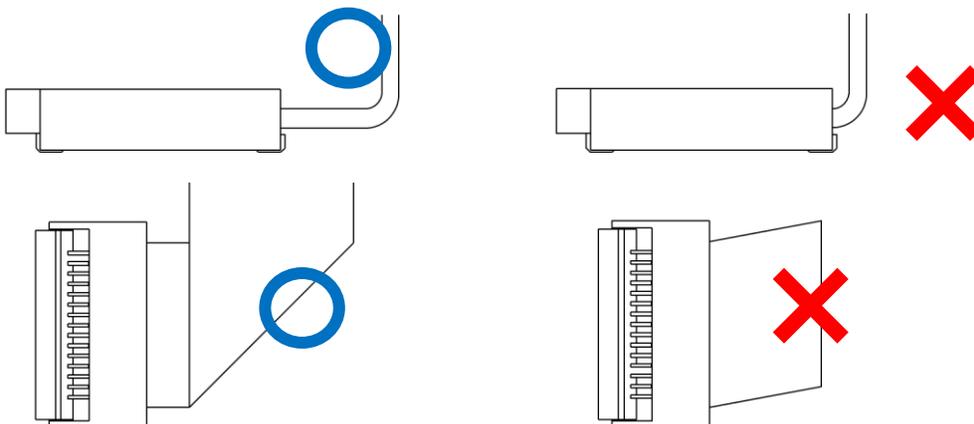
アクチュエータの操作について

- アクチュエータの操作は、必ず指で行ってください。ピンセットなどの工具を使用しないでください。コネクタが破損する原因となります。
- アクチュエータは正規の動作以外に過度な力を加えないでください。コネクタ破損の原因となります。



FPC/FFC の引き回しについて

- FPC/FFC 装着後は FPC/FFC に負荷が加わらないよう、引き回しにご注意ください。やむを得ず引き回す場合は、製品の間口から十分余裕を取るか、FPC/FFC に折り曲げ加工を行ってください。

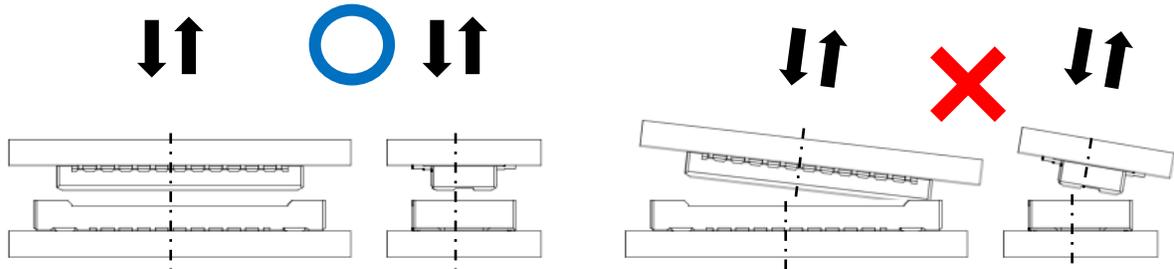


molex	コネクタに関する一般的な取扱い注意事項	Number:	Doc Part	Doc Type
		2195532297-4QA	JP	QMD
EC Number: 786986			Rev: B	

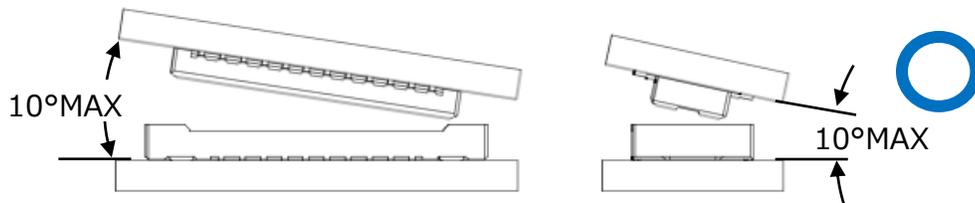
4) 基板対基板用コネクタ

嵌合・抜去について

- 嵌合・抜去は、嵌合軸に沿って、平行に行ってください。



- 斜めの位置合わせになる場合は、10°以下の角度で位置合わせした後、平行に嵌合してください。



- 抜去の際、抜けにくい場合は、左右に少しずつ振りながら抜いてください。



実装について

- フレキシブル基板等の特殊な基板に実装して使用する場合は、お客様の実使用環境で事前に作業確認を行った上で、問題ないことを確認し、ご使用ください。
- フレキシブル基板に実装する場合は、基板の変形を防止するため、またそれに伴う不良発生を防ぐため、補強板をご使用ください。

molex	コネクタに関する一般的な取扱い注意事項	Number:	Doc Part	Doc Type
		2195532297-4QA	JP	QMD
EC Number: 786986			Rev: B	

改定履歴

版	改定内容	作成者	発行日
A	RELEASED	K. Gondaira	2015/03/24
B	UPDATED	K. Gondaira	2024/05/22